

YPUドリームアドベンチャープロジェクト2010

採 択 決 定

平成22年度のプロジェクトについては、選考の結果、以下の6件のプロジェクトが採択されました。

◎A部門

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代 表 者
1	県大留学生新聞『パンダの足跡』の発行	<ul style="list-style-type: none"> ・今日本にいる留学生の視点から山口と日本の文化をピックアップし、比較の視点も入れ、現代中国の文化、社会を捉え直し、県大の学生や地域の方々に紹介し、日本人の中国文化への理解を深める。 ・日本にある「中国」、中国にある「日本」を取り上げ、相互に紹介し、中日交流、理解を促進する。 ・留学生の視点から山口県立大学地域だけでなく、国際社会にもアピールする。 	国際文化学研究科 1年 申 明賢
2	YPU TFT PROJECT ～play with smiles～	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年は食堂に「TABLE FOR TWO」を導入することが目的だった。今回、私たちはこの導入したTFTを活用して地域の方々が気軽に足を運べるような大学を目指す。 ・TFTのヘルシーメニューを通して、“世界の食事情”や“食べることの大切さ”を再認識していただきたい。また既定のTFTの活動を中心とするのではなく、“地域とのつながり”を第一に考え、地域の方々とともに、この山口県立大学にしかない「YPUTFT」をつくっていききたい。 	国際文化学科 2年 高家 あゆみ
3	おいしいたけプロジェクト ～新キャンパスに憩いの場を～	<ul style="list-style-type: none"> ・一昨年まで続けていた「夢の森のプロジェクト」を引き継ぎ、しいたけの栽培を通して、夢の森に人を集め、交流の場を作る。 ・また、しいたけ農協との連携で、生産者という立場に立つことが、学生の就業体験となり得る。 ・この一連の活動を通して、大学と地域とのつながりをより強くすることができる。 	国際文化学科 3年 長廣 茜

◎B部門

	プロジェクト名	プロジェクトのねらい	代 表 者
1	Kids' English	<ul style="list-style-type: none"> ・英語教員を目指す学生に対して、人に英語を教えるという実践的経験を踏む場を作る。普段ほとんど関わらない小学生と大学生の交流を通して、山口県立大学における活動の一部を地域に発信していく。 ・また、実際の小学校での授業の中でも、ティーチングアシスタントとして担任の先生のサポートを行うなど、より発展させて、大学生が学外に出る機会を増やし、地域とのつながりを持つ 	国際文化学科 4年 梶山 留未
2	Hong☆무지개 ～虹～	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県立大学では、中国や韓国の語学や文化を専門的に学ぶことができることをPRし、大学の宣伝につなげる。 ・様々なイベントを通して、そこから学生や地域の方に中国・韓国について興味を持ってもらい、日中韓の交流を広げていく。留学生を巻き込んだプロジェクトにする。 	国際文化学科 3年 倉本真夢美
3	YPU SWEETS PROJECT	<ul style="list-style-type: none"> ・山口県立大学の新たな魅力が詰まったお菓子を開発する。 ・地元製菓店との協力や学内でパッケージコンテストを開催するなど、多くの方と連携した商品を開発する。 ・地産地消を中心とするエコアクションにも取り組むことで、環境にも配慮した活動を行う。 	栄養学科 4年 広津奈緒子